

## 腰痛と鍼灸院

一昨日「ウェルネスはやし鍼灸院」に行ってきた。京ちゃんお父さんが院長の鍼灸院だ。iPadの地図を見ながら、地下鉄・堀田から歩いた。途中で道を間違えたようで、郵便配達の人に聞いた。鍼灸院近くにたどりつくと、学校帰りのちーちゃんが近寄ってきた。迷って歩き疲れたこともあり、ちーちゃんに会えて嬉しかった。京ちゃんにも、ドア越しにすこしだけ「再会」できた。

写真下は待合室から撮ったものだ。建物デザインも素敵な感じだが、待合室から見た室内も明るく落ち着きがある。これまで通った鍼灸院は、どうも暗い感じのところが多く、かなり異なるイメージだ。治療方針も独特のものがあ、洒落た案内カードから紹介しよう。

「当院は、痛みのある部位のみへの局所治療ではなく、体質に合わせた東洋医学的診断、治療方法を行います。脈や舌、肌の状態で、体のどこに不調があるのか（五臓六腑の状態）を把握し、人間が本来持つ治癒力生命力を高める治療をします。脈や舌も一人一人特徴があり、また体調により日々変化します。肩こり、腰痛だけでなく、風邪や精神的な疲れにも、効果を発揮します。はりには痛みがなく、お灸も跡が残らない温かなお灸なので赤ちゃんから、お年寄りの方まで安心して治療できます。」

まずは脈と舌の状態から、入念にチェックが始まった。やや緊張気味に、うつ伏せ、仰向けになり、はりとお灸をしてもらった。ほとんど痛みや熱さも感じなく、だんだんと気持ちが良くなってきた。治療方針にある「痛くないはり 温かなお灸」により、腰と肩の痛みが「ころり」と取れていく感じであった。治療後には脈にも変化が見られた。でも、長年の腰の張りが蓄積した慢性的腰痛は、一筋縄ではいかない状態のようである。

腰痛との「つきあい」は、じつに長い。幼いころから病弱であり、腕や足腰が細く、ちょっとしたことで骨折をした。それでも中学から大学までは元気に過ごしたが、その後ずっと腰痛に悩まされるようになった。大学院の頃に「ぎっくり腰」をやり、立ち上ることもできなかった。「ぎっくり腰」を繰り返すうちに、腰痛が続くようになった。年末に腰痛になることが多く、近くの鍼灸院で「応急措置」してもらった。整形外科や鍼灸院に通い続けたが、腰痛から逃れられなかった。それで鍼灸院に通うのをやめて、「せんねん灸」などに専念することにした。だが痛みは続き、趣味の「まち歩き」にも支障をきたすことになり、思い切って「ウェルネスはやし鍼灸院」を訪ねることにした。これも京ちゃん、ちーちゃんとの出会い、不思議な「つながり」によるものだ。



(2015年2月27日)